

令和4年度空家等実態調査結果（概要）

1 調査概要

平成30年空家等実態調査において危険度判定の結果がCランク及びDランクであった空家等618件について、現地調査を行った。

【平成30年度 空家等実態調査】

		危険度 低 高								
合計件数		Aランク		Bランク		Cランク		Dランク		
総件数	1145	100.0%	74	6.5%	453	39.6%	496	43.3%	122	10.7%

【令和4年度 空家等実態調査（Cランク、Dランクの現状）（令和5年1月末時点）】

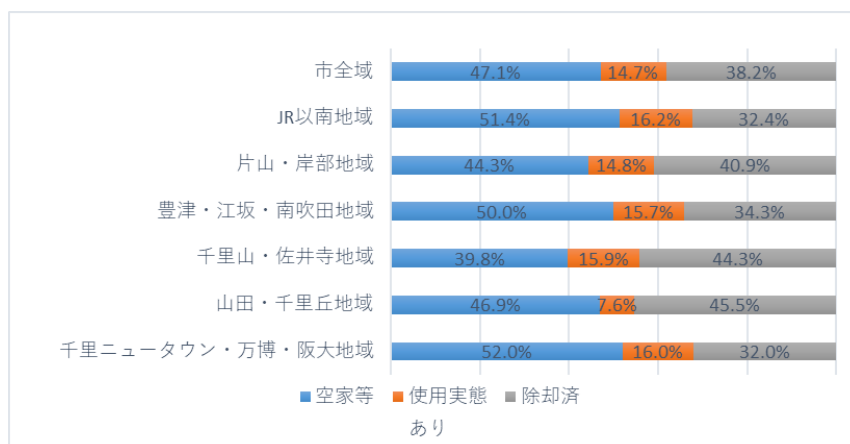
		合計件数		Cランク(H30)		Dランク(H30)	
調査件数(R4)		618	100.0%	496	100.0%	122	100.0%
空家等		291	47.1%	246	49.6%	45	36.9%
評点100点以上		15	2.4%	9	1.8%	6	4.9%
評点99点以下		276	44.7%	237	47.8%	39	31.2%
除却済		236	38.2%	166	33.5%	70	57.4%
建物なし		95	15.4%	63	12.7%	32	26.2%
建替え済		141	22.8%	103	20.8%	38	31.2%
使用実態あり		91	14.7%	84	16.9%	7	5.7%

2 地域別の状況

(1) 建物の状況（地域別件数）

地域区分	合計	空家等			除却済			使用実態あり
		計	評点100点以上	評点99点以下	計	建物なし	建替え済	
市全域	618	291	15	276	236	95	141	91
JR以南地域	105	54	7	47	34	11	23	17
片山・岸部地域	176	78	4	74	72	35	37	26
豊津・江坂・南吹田地域	108	54	3	51	37	17	20	17
千里山・佐井寺地域	88	35	1	34	39	13	26	14
山田・千里丘地域	66	31	0	31	30	9	21	5
千里ニュータウン・万博・阪大地域	75	39	0	39	24	10	14	12

建物の状況（地域別割合）



- ・市全体：「空家等」が291件（47.1%）、「除却済」が236件（38.2%）、「使用実態あり」が91件（14.7%）の順に多い。
- ・地域別：「空家等」の割合は、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」（52.0%）、「JR以南地域」（51.4%）、「豊津・江坂・南吹田地域」（50.0%）の順に高い。「特定空家等相当」の件数は、「JR以南地域」7件、「片山・岸部地域」4件、「豊津・江坂・南吹田地域」3件の順に多く、市域の南部に多い傾向がある。

(2) 除却後の状況・用途

地域区分	合計	建物なし (空き地等)	建替え済			
			計	戸建住宅	集合住宅 (長屋含む)	その他
市全域	236	95	141	111	24	6
JR以南地域	34	11	23	18	5	0
片山・岸部地域	72	35	37	31	5	1
豊津・江坂・南吹田地域	37	17	20	13	5	2
千里山・佐井寺地域	39	13	26	22	3	1
山田・千里丘地域	30	9	21	13	6	2
千里ニュータウン・万博・阪大地域	24	10	14	14	0	0

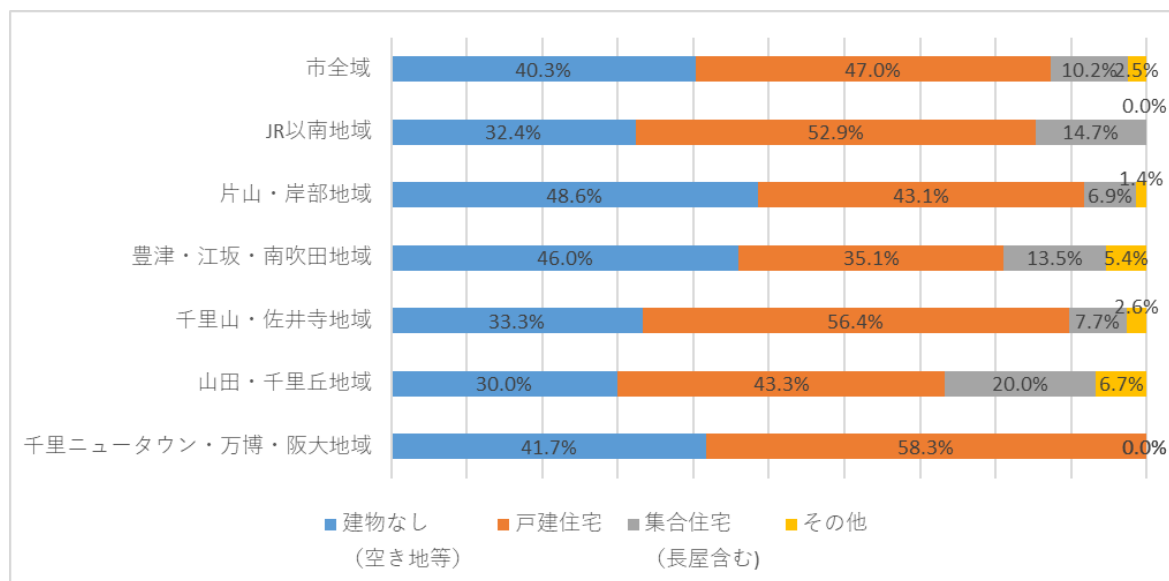
※「その他」の用途

：店舗兼住宅、店舗、事務所、倉庫など

※除却前（平成30年度）の空家等の用途（市全域）

：戸建住宅178件（75.4%）、長屋住宅33件（14.0%）、その他25件（10.6%）

除却後の状況（地域別割合）



・市全体：「戸建住宅」への建替えが111件（47.0%）、「建物なし（空き地等）」が95件（40.3%）の順に多い。

・地域別：「建物なし（空き地等）」の割合は、「片山・岸部地域」（48.6%）、「豊津・江坂・南吹田地域」（46.0%）の順に高い。